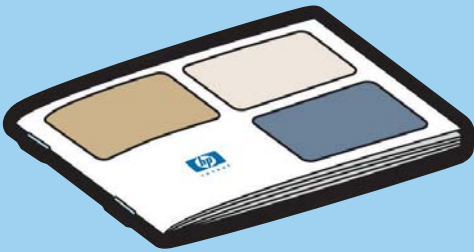
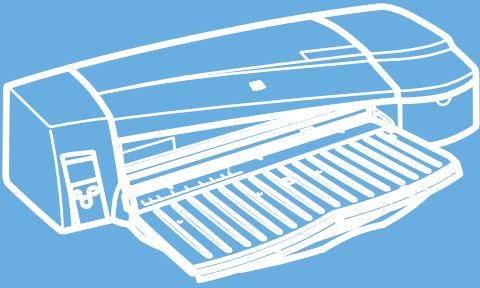


HP Designjet  
70/110plus series



クイック レファレンス  
ガイド



i n v e n t

## 使用方法

用紙を取り付けるには (一般的な手順) .....	3
前面手差し用紙フィーダから給紙するには .....	5
前面手差し用紙フィーダから排紙するには .....	5
給紙トレイに用紙を取り付けるには .....	6
背面手差し用紙フィーダからカット紙を給紙するには .....	9
大判カット紙に印刷するには (70 プリンタ シリーズ) .....	11
大判カット紙に印刷するには (110plus プリンタ シリーズ) .....	13
ロール紙を取り付けるには (70 プリンタ シリーズ) .....	15
ロール紙を取り外すには (70 プリンタ シリーズ) .....	17
ロール紙を取り付けるには (110plus プリンタ シリーズ) .....	18
ロール紙を取り外すには (110plus プリンタ シリーズ) .....	21
インク カートリッジを交換するには .....	22
プリントヘッドのクリーニングを行うには .....	23
プリントヘッドを交換するには .....	27
プリントヘッドの軸合わせを行うには .....	31

## トラブルシューティング

紙詰まりが発生した場合 (カット紙) .....	32
紙詰まりが発生した場合 (ロール紙) .....	33
給紙トレイから用紙が給紙されない場合 .....	34
前面手差し用紙フィーダまたは給紙トレイから給紙した用紙が排出される場合 .....	34
一度に2枚以上の用紙が給紙される場合 .....	35
プリンタが停止する場合 .....	36
プリンタがジョブを受け取らない場合 .....	37
印刷品質が低い場合 .....	38
フロントパネルの【ツール】アイコンが点滅する場合 .....	39
その他の問題 .....	41

## 詳細

フロントパネルについて .....	42
フロントパネルのアイコンについて .....	44
複数のアイコンの点滅について .....	45
HP Designjet システム保守について .....	46
プリンタの詳細情報について .....	47

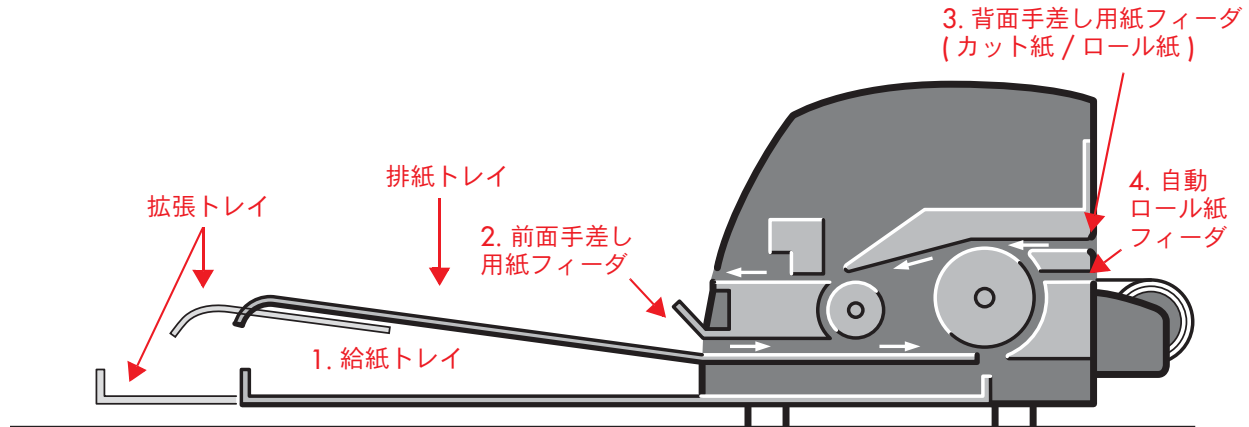
## 法規関連情報

HP 無償保証 .....	48
法定規格通知 .....	51



## 用紙を取り付けるには (一般的な手順)

自動ロール紙フィーダが取り付けられているプリンタの場合、用紙をプリンタに取り付ける方法は 4 通りあります。手動ロール紙フィーダが取り付けられている、またはロール紙フィーダが取り付けられていない場合、用紙の取り付け方法は 3 通りあります。



1. **給紙トレイ**には、76 × 142mm (3 × 5.6 インチ) ~ 457 × 610mm (18 × 24 インチ) (C ノビ) の用紙を取り付けることができます。
2. **前面手差し用紙フィーダ**には、以下の用紙を取り付けることができます。
  - 152 × 229mm (6 × 9 インチ) ~ 458 × 1625mm (18.03 × 63.9 インチ) (A2 ノビ) (70 プリンタの場合)
  - 110 × 205mm (4.3 × 8.1 インチ) ~ 625 × 1625mm (24.6 × 63.9 インチ) (A1 ノビ) (110plus/110plus nr プリンタの場合)
3. **背面手差し用紙フィーダ (上部スロット)**には、厚手の用紙、または以下の用紙を取り付けることができます。
  - 76 × 205mm (4 × 8.1 インチ) ~ 458 × 1625mm (18.03 × 63.9 インチ) (A2 ノビ) (70 プリンタの場合)
  - 110 × 205mm (4.3 × 8.1 インチ) ~ 625 × 1625mm (24.6 × 63.9 インチ) (A1 ノビ) (110plus/110plus nr プリンタの場合)

プリンタに**手動ロール紙フィーダ**が取り付けられている場合は、**背面手差し用紙フィーダ (上部スロット)**をロール紙フィーダとして使用することもできます。

4. プリンタに**自動ロール紙フィーダ**が取り付けられている場合 (HP Designjet 110plus nr のみ)は、**自動ロール紙フィーダ (下部スロット)**をロール紙フィーダとして使用することができます。

## 用紙を取り付けるには (一般的な手順) (続き)

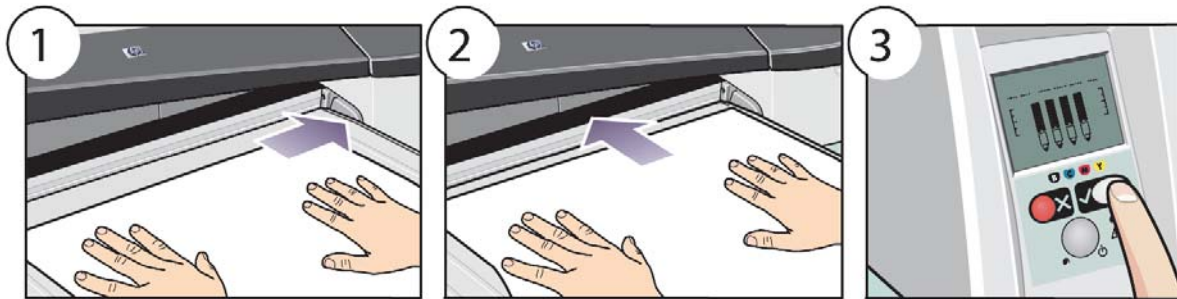
ロール紙フィーダを使用して、背面用紙フィーダにロール紙を取り付けることができます。ロール紙がプリンタに取り付けられている場合は、用紙の経路がふさがれるので、カット紙に印刷する前に、常にロール紙を取り外す必要があります (18 ページを参照)。

用紙の取り付けは、ポートレート モード (縦方向) で行う必要があります。つまり、用紙の先端は短辺側である必要があります。

**拡張トレイ**は、**前面手差し用紙フィーダ**に用紙を取り付ける際に、用紙を取り付けやすくし、また**排紙トレイ**から排出される用紙を受けます。

## 前面手差し用紙フィーダから給紙するには

下図では、HP Designjet 110plus プリンタ シリーズを例に説明しています。



1. 印刷面を下向きにして排紙トレイに用紙を1枚置き、排紙トレイの右側に揃えます。  
**このとき、複数の用紙を積み重ねないでください。**
2. 右側を揃えたままの状態、用紙をプリンタの奥まで差し込みます。用紙がしわにならないように、スロットに近い部分に手を添えてまっすぐに差し込みます。用紙が給紙されない場合は、もう一度差し込んでください。このとき、用紙の先端が歪んでいないことを確認してください。
3. フロントパネルの **[OK]** ボタン (右上のボタン) を押します。

プリンタは用紙の位置を確認し、揃っていない場合は排紙します。排紙された場合は、もう一度給紙してください。

## 前面手差し用紙フィーダから排紙するには

用紙の種類を変更したり、用紙を背面手差し用紙フィーダに取り付け直す場合など、一度前面手差し用紙フィーダから給紙した用紙を印刷前に変更したり取り付け直す場合には、次の手順に従います。

- **[キャンセル]** ボタンと **[OK]** ボタンを同時に押して、用紙を排紙します。

下図では、HP Designjet 110plus プリンタ シリーズを例に説明しています。



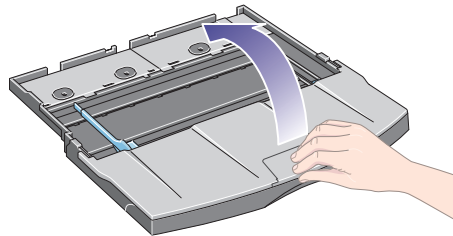
## 給紙トレイに用紙を取り付けるには

リーガルまたは A4 サイズより大きい用紙を使用する場合のみ給紙トレイを引き出してください。

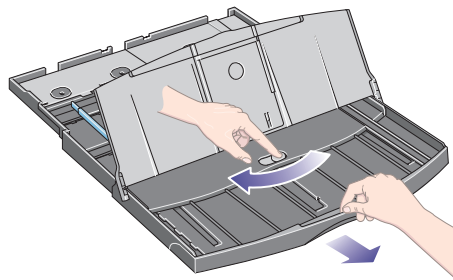
1. 給紙トレイを取り外します。



2. 給紙トレイのカバーを持ち上げます。



3. 使用している用紙がリーガルまたは A4 サイズよりも大きい場合は、中央にあるロックタブを左方向にスライドさせ、トレイを広げます。拡張トレイをいっぱいまで引き出します。

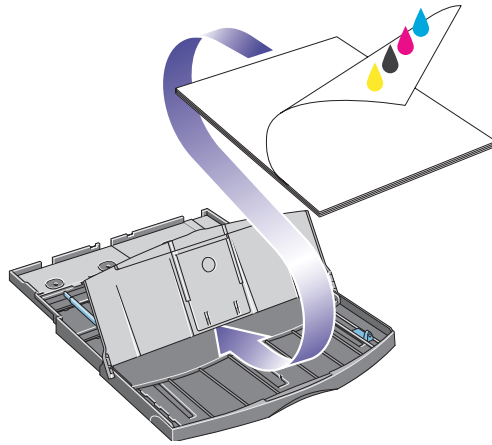


4. 用紙の短辺側をパラパラとめくります。これにより、用紙が互いに貼り付いて給紙されるのを防止できます。

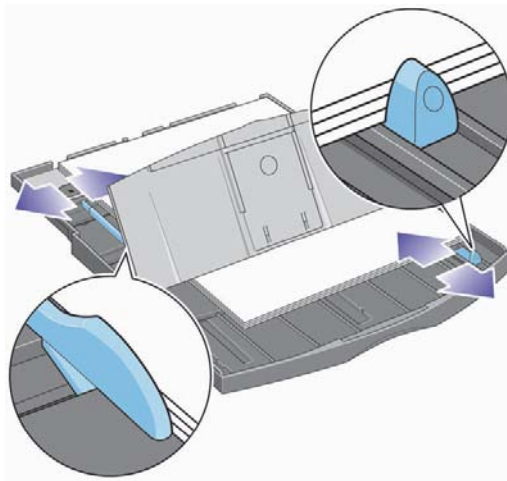


## 給紙トレイに用紙を取り付けるには (続き)

5. 用紙を給紙トレイのカバーの下に入れます。用紙が給紙トレイの右側と奥 (プリンタ側) に揃っていることを確認します。



6. 給紙トレイ右側のタブを用紙に向かって押して、用紙にぴったりと合わせます。トレイ左側のタブを用紙に向けてスライドさせ、用紙にぴったりと合わせます。

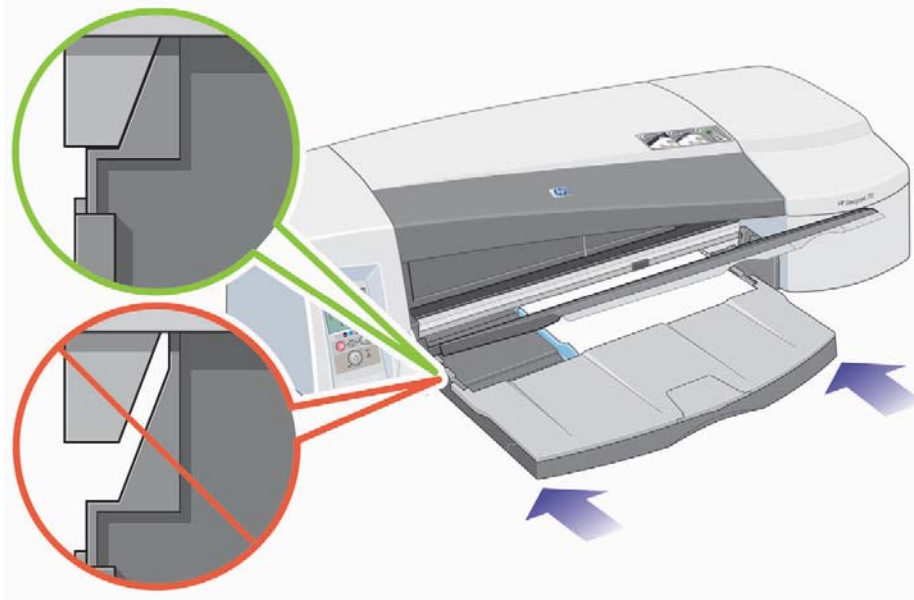


7. 給紙トレイのカバーを閉じます。



## 給紙トレイに用紙を取り付けるには (続き)


8. 排紙トレイを持ち上げて、給紙トレイをプリンタに取り付けます。このとき、給紙トレイの両側を持って、奥までまっすぐに差し込みます。左内側の角をプラスチック製の給紙トレイのガイドに揃え、右内側の角を給紙トレイのステッカーに揃える必要があります。



9. 排紙トレイを左に軽く押して閉じます。給紙トレイを伸ばした場合、給紙トレイが排紙トレイよりも飛び出した状態になります。

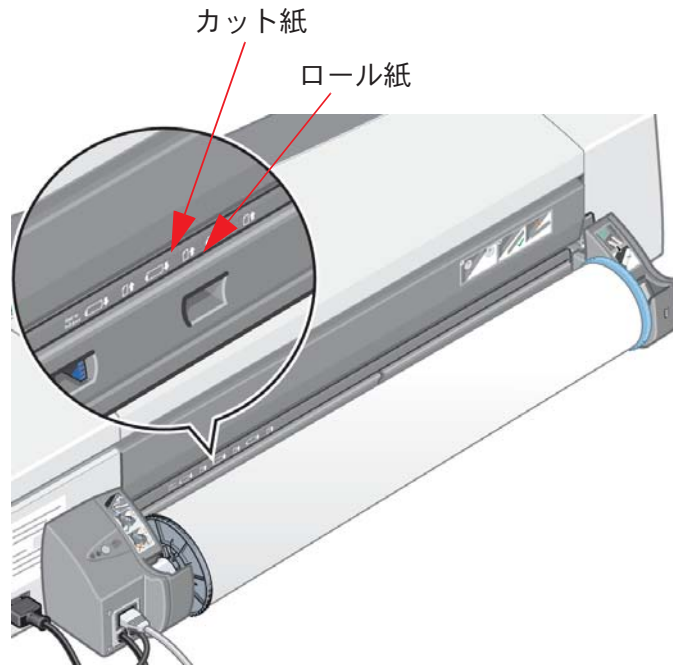
## 背面手差し用紙フィーダからカット紙を給紙するには

背面手差し用紙フィーダを使用してカット紙に印刷するには、用紙を取り付ける前にプリントジョブをプリンタに送信する必要があります。

1. 給紙方法を **[背面手差し]** に設定します。給紙方法が **[自動選択]** (Windows) または **[自動]** (Mac OS) に設定されている場合、プリンタは既に取り付けられている用紙を使用して印刷を開始します。**[背面手差し]** を指定した場合は、背面手差し用紙フィーダを使用する前に給紙トレイから用紙を取り出す必要はありません。
2. プリント ジョブを送信し、フロントパネルの **[用紙のステータス]** アイコンが点滅するのを確認してから、カット紙を背面手差し用紙フィーダに取り付けます。フロントパネルのアイコンの詳細については、44 ページを参照してください。右に **[用紙のステータス]** アイコンを示しています。
  - 自動ロール紙フィーダが取り付けられているプリンタでロール紙を背面手差し用紙フィーダに取り付けた場合、プリント ジョブを送信するとロール紙は自動的に取り外されます。**[用紙のステータス]** アイコンが点滅し、背面手差し用紙フィーダに用紙がないことが通知されます。この状態でカット紙を取り付けることができます。  
**[ロール紙のステータス]** アイコンと **[紙詰まり]** アイコン、**[ロール紙のステータス]** アイコンと **[用紙の不揃い]** アイコンなど、ほかのアイコンが表示される場合、カット紙を取り付ける前に、ロール紙を手動で取り外す必要があります。
  - プリンタにロール紙フィーダが取り付けられていて、背面手差し用紙フィーダにロール紙が取り付けられている場合、カット紙に印刷するには、まずロール紙を取り外す必要があります。17 ページの「ロール紙を取り外すには (70 プリンタ シリーズ)」を参照してください。
3. カット紙を取り付ける用意ができたなら、プリンタ背面から見て背面手差し用紙フィーダの左側に、**印刷される面を上にして**用紙を取り付けます。

## 背面手差し用紙フィーダからカット紙を給紙するには (続き)

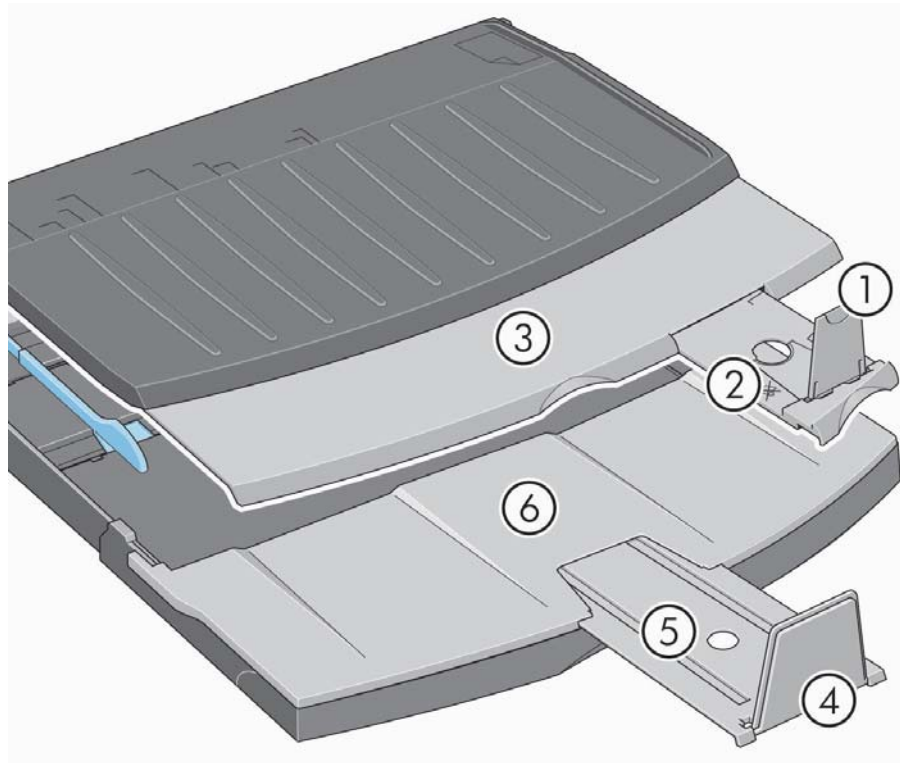
プリンタにスロットが2つある場合は、用紙を上部スロットから給紙する必要があります (下部スロットはロール紙専用のスロットです)。



4. 用紙の左端を、背面手差し用紙フィーダの左側のマークに合わせます。マークが見えない場合は、スピンドルの左端近くにある用紙止めに合わせます。用紙の先端がスロットに対して平行で、歪んでいないことを確認します。
5. 用紙をプリンタの奥まで差し込みます。

## 大判カット紙に印刷するには (70 プリンタ シリーズ)

プリンタの排紙システムには、複数の調整可能なコンポーネントがあります。大判カット紙で印刷を行う場合には、プリンタの排紙設定を適切に調整して使用する必要があります。下図に、プリンタの排紙システムの調整可能な部位を示します。



次ページの表には、各種の用紙サイズに必要とされる排紙システム設定を示します。

### 注記:

- 給紙方法として給紙トレイ、またはロール紙フィーダを使用している場合は、必要に応じて排紙システムの調整を行い、印刷物がきちんと積み重なるようにします。
- ロール紙フィーダから印刷する際に排紙トレイに印刷物が残っている場合は、印刷する前に排紙トレイを空にしてから必要な調整を行います。

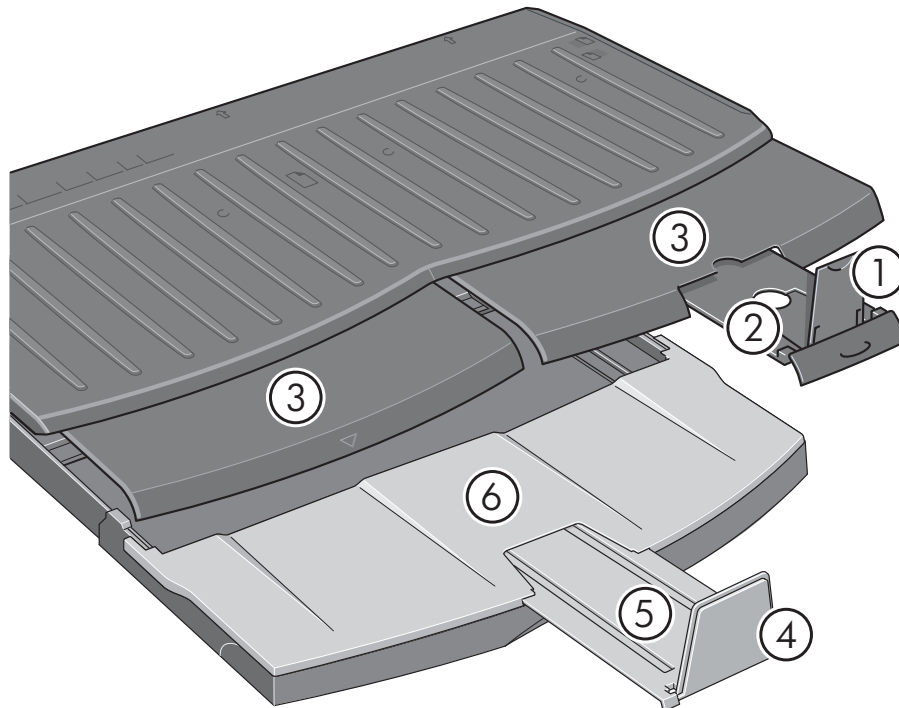
次のページに続く ...

大判カット紙に印刷するには (70 プリンタ シリーズ) (続き)

給紙方法	排紙先	サイズ	幅	長さ	1	2	3	4	5	6		
給紙トレイ	排紙トレイ	Aサイズ	JIS B5	182mm	257mm	起こす	A3の位置 まで引き 出す	引き出さ ない	起こさ ない	引き出さ ない	使用し ない	
			ANSI A	8.5インチ	11インチ							
			ISO A4	210mm	297mm							
			ARCH A	9インチ	12インチ							
			DIN C4	229mm	324mm							
			ISO B4	250mm	353mm							
			リーガル	8.5インチ	14インチ							
		JIS B4	257mm	364mm	起こす	B4の位置 まで引き 出す	引き出さ ない	起こさ ない	引き出さ ない	使用し ない		
		Bサイズ	ISO A3	297mm	420mm	起こす	A3の位置 まで引き 出す	A3の位置 まで引き 出す	起こさ ない	引き出さ ない	使用し ない	
			ANSI B	11インチ	17インチ	起こす	B4の位置 まで引き 出す	A3の位置 まで引き 出す	起こさ ない	引き出さ ない	使用し ない	
			ARCH B	12インチ	18インチ							
			DIN C3	324mm	458mm							
			ANSI B ノビ	13インチ	19インチ							
		ISO B3	353mm	500mm	起こさ ない							引き出さ ない
	JIS B3	264mm	515mm	起こさ ない	引き出さ ない	引き出さ ない	起こす	A2の位置 まで引き 出す	開く			
	ANSI C	17インチ	22インチ									
	ISO A2	420mm	594mm									
	ARCH C	18インチ	24インチ									
	前面 手差し用紙 フィーダ	排紙トレイ	Cサイズ	DIN C2	458mm	648mm	起こさ ない	引き出さ ない	ロール紙 アイコン の位置 まで引き 出す	起こさ ない	引き出さ ない	使用し ない
	背面 手差し用紙 フィーダ (カット紙)	排紙トレイ	Aサイズ	ISO A6	105mm	148mm	起こす	A6の位置 まで引き 出す	引き出さ ない	起こさ ない	引き出さ ない	使用し ない
ISO A5				148mm	210mm	A5の位置 まで引き 出す						
Cサイズ			DIN C2	458mm	648mm	起こさ ない	引き出さ ない	ロール紙 アイコン の位置 まで引き 出す	起こさ ない	引き出さ ない	使用し ない	
ロール紙 フィーダ	排紙トレイ	カスタム	最大 18インチ			起こさ ない	引き出さ ない	ロール紙 アイコン の位置 まで引き 出す	起こさ ない	引き出さ ない	使用し ない	

## 大判カット紙に印刷するには (110plus プリンタ シリーズ)

プリンタの排紙システムには、複数の調整可能なコンポーネントがあります。大判カット紙で印刷を行う場合には、プリンタの排紙設定を適切に調整して使用する必要があります。下図に、プリンタの排紙システムの調整可能な部位を示します。



次ページの表には、各種の用紙サイズに必要とされる排紙システム設定を示します。

### 注記:

- 給紙方法として給紙トレイ、またはロール紙フィーダを使用している場合は、必要に応じて排紙システムの調整を行い、印刷物がきちんと積み重なるようにします。
- ロール紙フィーダから印刷する際に排紙トレイに印刷物が残っている場合は、印刷する前に排紙トレイを空にしてから必要な調整を行います。

次のページに続く ...

大判カット紙に印刷するには (110plus プリンタ シリーズ) (続き)

給紙方法	排紙先	サイズ	幅	長さ	1	2	3	4	5	6	
給紙トレイ	排紙トレイ	Aサイズ	JIS B5	182mm	257mm	起こす	A3の位置 まで引き 出す	引き出さ ない	起こさ ない	引き出さ ない	使用し ない
			ANSI A	8.5インチ	11インチ						
			ISO A4	210mm	297mm						
			ARCH A	9インチ	12インチ						
			DIN C4	229mm	324mm						
			ISO B4	250mm	353mm						
			リーガル	8.5インチ	14インチ						
		JIS B4	257mm	364mm	起こす	B4の位置 まで引き 出す	引き出さ ない	起こさ ない	引き出さ ない	使用し ない	
		Bサイズ	ISO A3	297mm	420mm	起こす	A3の位置 まで引き 出す	A3の位置 まで引き 出す	起こさ ない	引き出さ ない	使用し ない
			ANSI B	11インチ	17インチ	起こす	B4の位置 まで引き 出す	A3の位置 まで引き 出す	起こさ ない	引き出さ ない	使用し ない
			ARCH B	12インチ	18インチ						
			DIN C3	324mm	458mm						
			ANSI B ノビ	13インチ	19インチ						
		ISO B3	353mm	500mm	起こさ ない						
		JIS B3	264mm	515mm	起こさ ない	引き出さ ない	引き出さ ない	起こす	A2の位置 まで引き 出す	開く	
		ANSI C	17インチ	22インチ							
		ISO A2	420mm	594mm							
ARCH C	18インチ	24インチ									
前面 / 背面 手差し用紙 フィーダ (カット紙)	排紙 スタッカ	Dサイズ	DIN C2	458mm	648mm	起こさ ない	引き出さ ない	ロール紙 アイコン の位置 まで引き 出す	起こさ ない	引き出さ ない	使用し ない
			ISO B2	500mm	707mm						
			JIS B2	515mm	728mm						
			ISO A1	594mm	841mm						
			ANSI D	22インチ	34インチ						
			ARCH D	24インチ	36インチ						
ロール紙 フィーダ	排紙 スタッカ	カスタム	最大 24インチ		起こさ ない	引き出さ ない	ロール紙 アイコン の位置 まで引き 出す	起こさ ない	引き出さ ない	使用し ない	

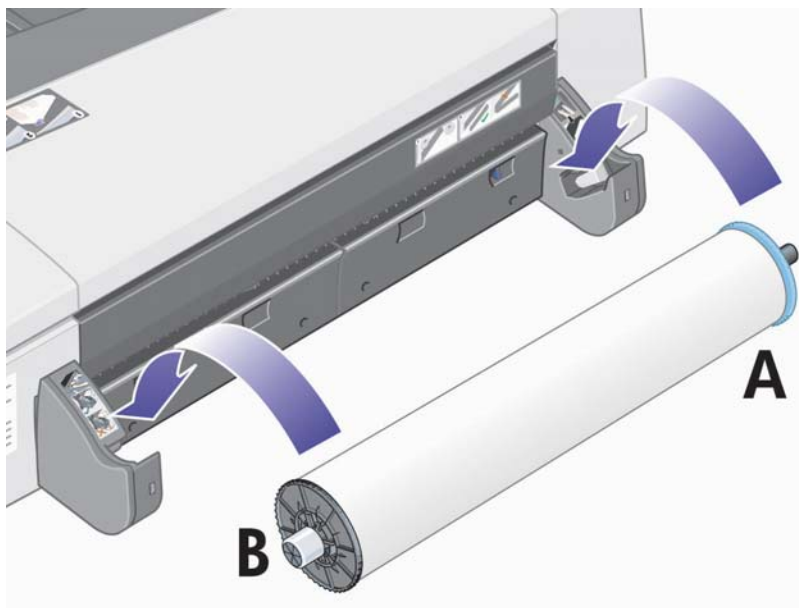
## ロール紙を取り付けるには (70 プリンタ シリーズ)

ロール紙は、ロール紙フィーダが取り付けられている場合のみ使用できます。

印刷するには、カット紙とロール紙を同時に使用することはできません。プリンタにロール紙が取り付けられている場合、カット紙に印刷するには、ロール紙をまず取り外す必要があります。その後でまた、ロール紙に印刷するように設定を変更すると、ロール紙に印刷できます。

ロール紙を取り外さずにカットするには、**[OK]** ボタンを押します。この際、用紙は約 1cm 先送りされます。

1. ロール紙フィーダに取り付けられた用紙を使用するようにアプリケーションで設定します。
2. アプリケーションで印刷を選択します。
3. 使用するロール紙を取り付けます。ロール紙の取り付け方向が正しく、印刷される面が上になっており、ロール紙のスピンドルに青色のストッパが正しく取り付けられていることを確認します。
4. スピンドルを取り付け用のスロットに挿入します。下図のように、プリンタの背面から見て右側に青色のストッパ (A)、左側に黒色のストッパ (B) を差し込みます。



用紙が光沢紙の場合は、用紙の表面に汚れをつけないように手袋をはめて作業することをお勧めします。

5. ロール紙の先端がまっすぐで、ロールの左右に対して垂直になるように正しく巻かれていることを確認してください。



## ロール紙を取り付けるには (70 プリンタ シリーズ) (続き)

6. 用紙の余分な部分を巻き戻して、ロール紙をスピンドルにしっかりと巻きつけます。



7. ロール紙が歪まないようにその両側をしっかりと抑えながら、奥に突き当たるまでプリンタの背面に差し込みます。
8. ブザー音が鳴り、用紙がプリンタに取り付けられます。
9. プリンタが用紙の位置を確認します。



ロール紙が正しく揃っている場合は、**[ロール紙のステータス]**のアイコンがフロントパネルのディスプレイ部分に表示され、プリンタが印刷できる状態になったことを示します。



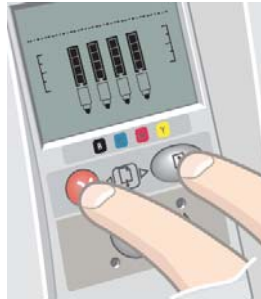
ロール紙が揃っていない場合は、用紙が排出されます。また、**[用紙の不揃い]**アイコンと**[ロール紙のステータス]**のアイコンがフロントパネルのディスプレイ部分に表示されます。この場合は、用紙を取り付け直します。



## ロール紙を取り外すには (70 プリンタ シリーズ)

**重要：**ロール紙がプリンタに取り付けられ固定されている場合には、ロール紙を引っ張らないでください。

1. **[キャンセル]** ボタンと **[OK]** ボタンを**同時に**押して、ロール紙を排紙します。



2. プリンタ背面の用紙経路から、給紙されている部分のロール紙をすべて引き出します。プリンタに給紙されている部分のロール紙がすべて引き出されるまでは、下図のようなアイコンが点滅します。これは、用紙の一部のみが取り出されると用紙詰まりが発生する場合がありますためです。まれに、プリンタ背面の用紙経路から、用紙が自然に外れることもありますので、ご注意ください。



3. プリンタからスピンドルを取り外す必要はありません。

## ロール紙を取り付けるには (110plus プリンタ シリーズ)

このセクションは、プリンタにロール紙フィーダが取り付けられている場合にのみ参照してください。

印刷するには、カット紙とロール紙を同時に使用することはできません。ロール紙を取り付けている場合、カット紙に印刷するには、まず以下の操作を行ってください。

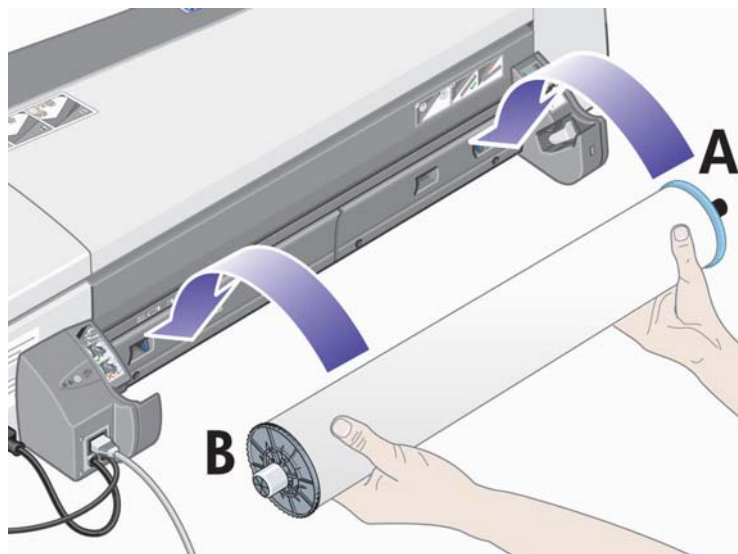
- プリンタに手動ロール紙フィーダが取り付けられている場合、カット紙に印刷するには、まずロール紙を取り外す必要があります。
- プリンタに自動ロール紙フィーダが取り付けられている場合、ロール紙は自動的に取り外されます。

自動ロール紙フィーダは、ロール紙への印刷を実行すると、ロール紙は再度自動的に取り付けられます。

**[OK]** ボタン (フロントパネルの右上のボタン) を押すと、ロール紙を取り外さずにカットできます。用紙は約 1cm 排出されます。

1. プリンタにロール紙フィーダが取り付けられている場合、ロール紙フィーダに取り付けられた用紙を使用するようにアプリケーションで設定する必要があります。
2. アプリケーションで印刷を選択します。
3. 使用するロール紙を取り付けます。ロール紙の取り付け方向が正しく、印刷される面が上になっており、ロール紙の芯に青色のスピンドル ストッパが正しく取り付けられていることを確認します。
4. スピンドルを取り付け用のスロットに挿入します。下図のように、プリンタの背面から見て右側に青色のストッパ (A)、左側に黒色のストッパ (B) を差し込みます。

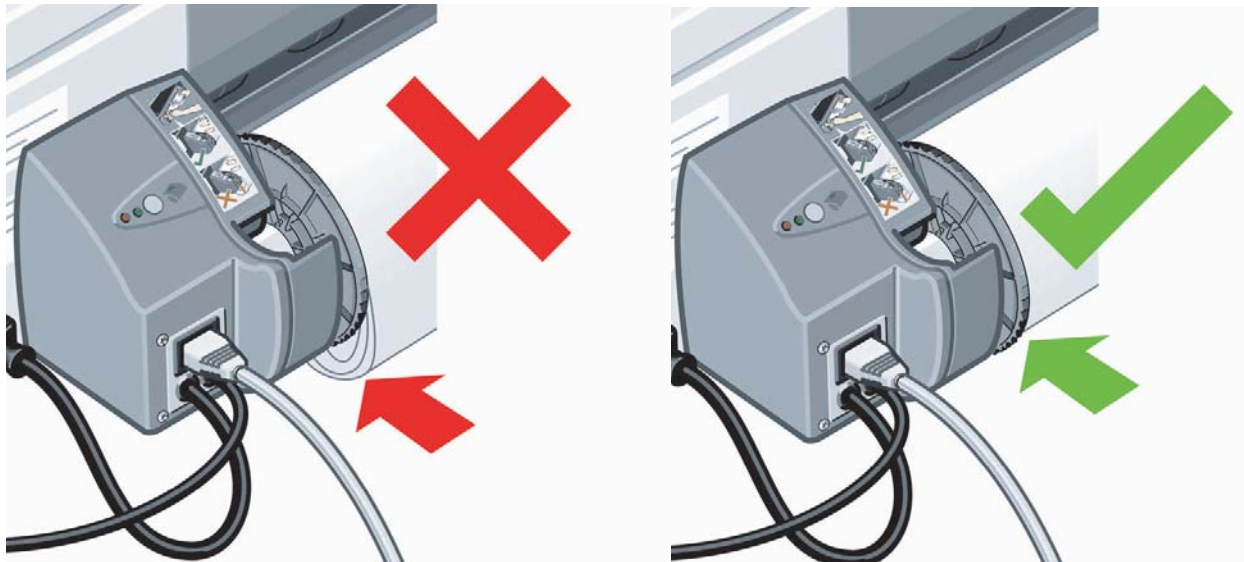
下図では、自動ロール紙フィーダ付きの 110plus プリンタ シリーズを例に説明しています。



## ロール紙を取り付けるには (110plus プリンタ シリーズ) (続き)

用紙が光沢紙の場合は、用紙の表面に汚れをつけないように手袋をはめて作業することをお勧めします。

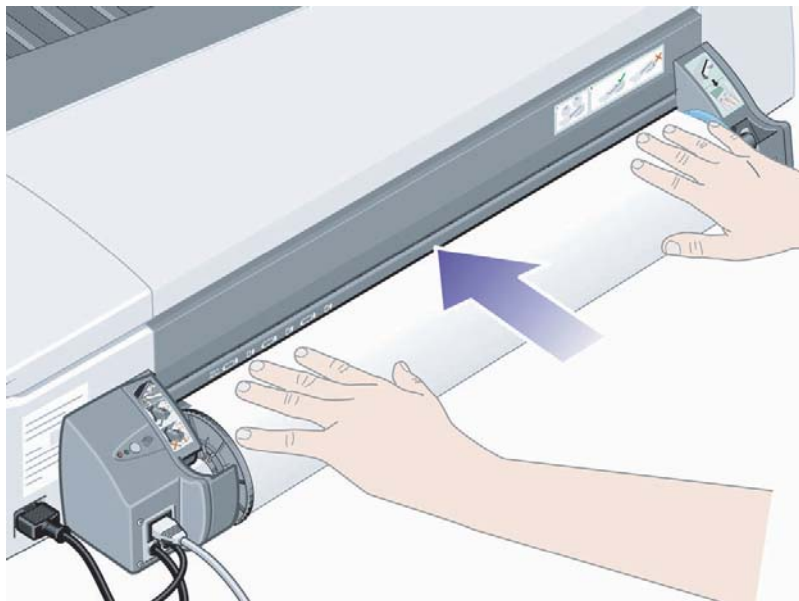
5. ロール紙の先端がまっすぐで、ロールの左右に対して垂直になるように正しく巻かれていることを確認してください。
6. 用紙の余分な部分を巻き戻して、ロール紙をスピンドルにしっかりと巻きつけます。



7. 用紙の先端を、プリンタ背面の下部スロットに挿入します。ロール紙が正しく揃うように両端をしっかりと抑えながら、奥に突き当たるまで用紙を差し込みます。

8. ブザー音が鳴り、用紙がプリンタに取り付けられます。

9. プリンタが用紙の位置を確認します。用紙が正しく揃っている場合は、**[ロール紙のステータス]** アイコンがフロントパネル



のディスプレイ部分に表示され、プリンタが印刷できる状態になったことを示します。

## ロール紙を取り付けるには (110plus プリンタ シリーズ) (続き)

用紙が揃っていない場合は、用紙が排出されます。また、**[用紙の不揃い]**アイコンと**[ロール紙のステータス]**アイコンがフロントパネルのディスプレイ部分に表示されます。この場合は、用紙を取り付け直します。



手順6に戻り、用紙をスピンドルにしっかりと巻きつけます。

## ロール紙を取り外すには (110plus プリンタ シリーズ)

**重要：** ロール紙がプリンタに取り付けられ固定されている場合には、ロール紙を引っ張らないでください。

ロール紙を取り外す方法には2通りあります。

- ロール紙を取り外して、プリンタにカット紙を給紙する場合は、フロントパネルの **[キャンセル]** ボタンと **[OK]** ボタンを**同時に**押します (下図参照)。その後ロール紙への印刷を実行すると、自動ロール紙フィーダにより、自動的にロール紙が再度セットされます。



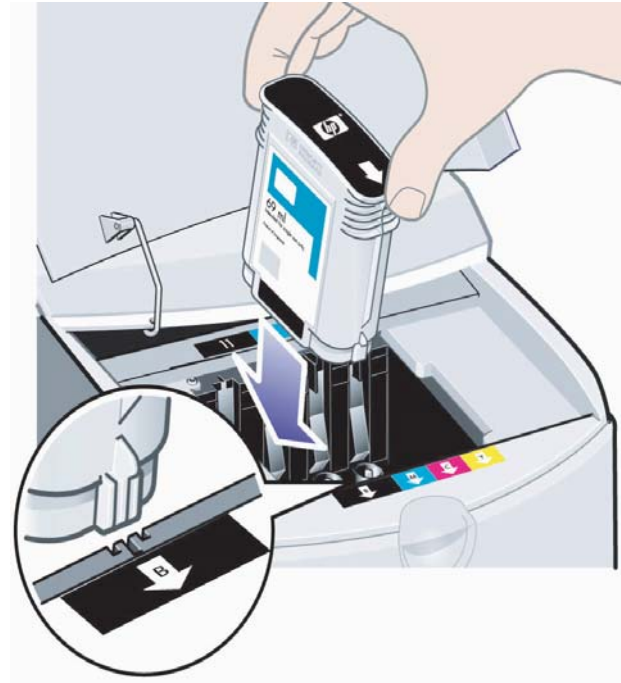
- ロール紙を完全に取り外す場合 (ロール紙が不要になった場合など) は、次の手順に従います。
1. プリンタ背面のロール紙フィーダの左側にある **[取り外し]** ボタンを押します。**[取り外し]** ボタンを何度も押さないでください。何度も押すと用紙が損傷する可能性があります。
  2. プリンタ背面の用紙経路から、給紙されている部分のロール紙をすべて引き出します。プリンタに給紙されている部分のロール紙がすべて引き出されるまでは、下図のようなアイコンが点滅します。これは、用紙の一部のみが取り出されると用紙詰まりが発生する可能性があるためです。まれに、プリンタ背面の用紙経路から、用紙が自然に外れることもありますので、ご注意ください。



プリンタからスピンドルを取り外す必要はありません。

## インク カートリッジを交換するには

1. プリンタ右側の前方部分の扉を開けます。
2. 交換の必要がある各インク カートリッジを、次の手順で交換します。
  - インク カートリッジ上部の端を持ち、垂直方向に持ち上げてプリンタから取り外します。



- 新しいインク カートリッジを挿入し、所定の位置にしっかりと取り付けます。

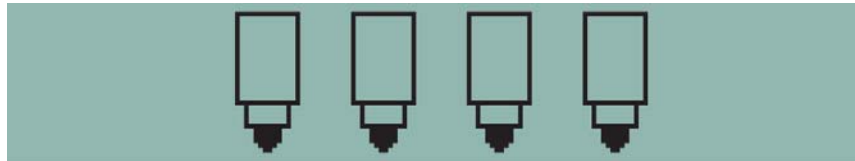
3. 扉を閉じます。



## プリントヘッドのクリーニングを行うには

プリントヘッドに故障が発生した場合、または要注意の状態である場合は、フロントパネルのディスプレイ部分に対応する[プリントヘッド]アイコンが点滅します。

下図では、HP Designjet 70 プリンタ シリーズを例に説明しています。

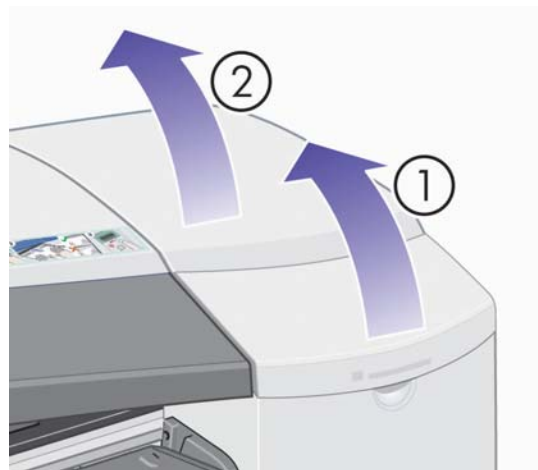


プリントヘッドが正しく取り付けられていることを確認します。正しく取り付けられている場合、プリントヘッドの接触面のクリーニングが必要である可能性があります。これには、下記のクリーニング用具が必要です。

- 湿らせても、ほつれたり繊維が残ったりしない、清潔で柔らかな生地（たとえばコーヒー フィルター）
- 蒸留水またはろ過水
- ペーパー タオル

プリンタの電源が入っていることを確認してから、下記の作業を行います。

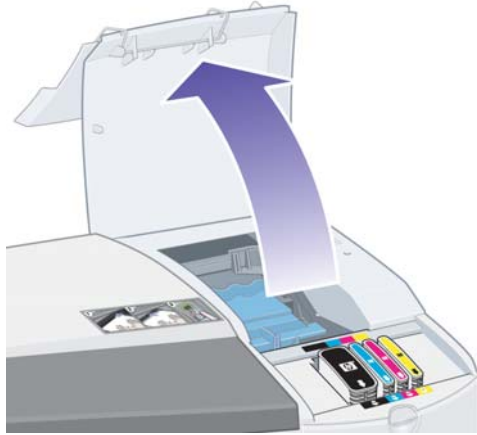
1. プリンタ右側の前方部分の扉を開けます。
2. さらに後方部分の扉を開け、後方いっばいに持ち上げます。プリント キャリッジが、左に移動し、また右に戻ってきます。**キャリッジが止まるまでお待ちください。**キャリッジが停止したら、プリンタから電源ケーブルを抜きます。



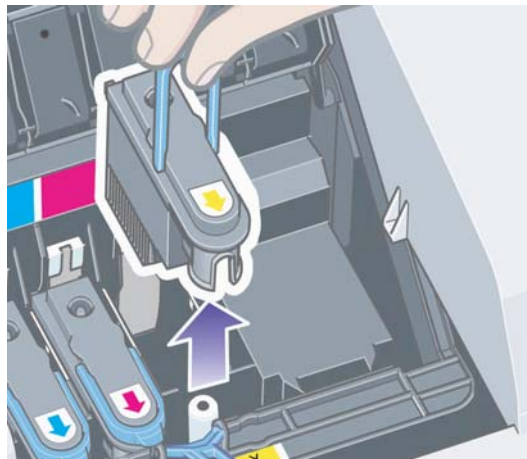


## プリントヘッドのクリーニングを行うには (続き)

3. プrintヘッド カバーを手前に倒して、前面のフックを外します。次に、Printヘッド カバー全体を後方に開けると、内側にPrintヘッドがあります。



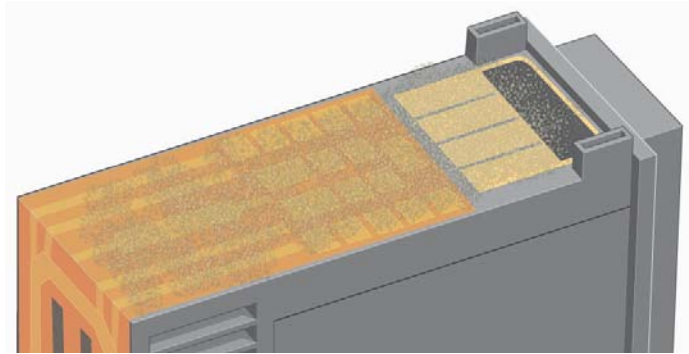
4. 前面上部にある小さなハンドルをつまんでPrintヘッドを垂直に持ち上げ、問題のあるPrintヘッドを取り外します。



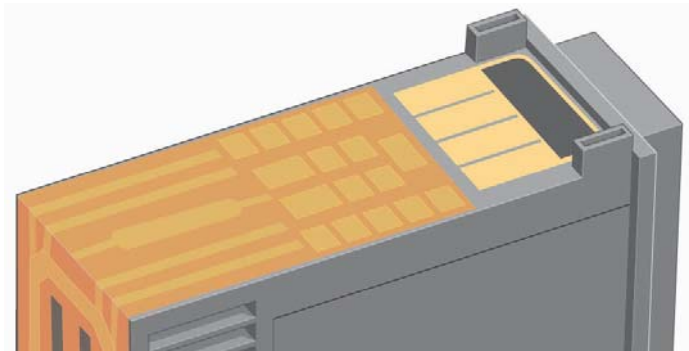
5. Printヘッドの接触面がテープに覆われていないことを確認します。テープが付いている場合は、テープを剥がします。
6. 清潔で柔らかな糸くずの出ない布を使用して、Printヘッドの接触面を軽く拭きます。

## プリントヘッドのクリーニングを行うには (続き)

7. プリントヘッドの接触面がまだ汚れている場合は...



先ほどの布を蒸留水で軽く湿らせて、接触面がきれいになるまで拭き続けます。



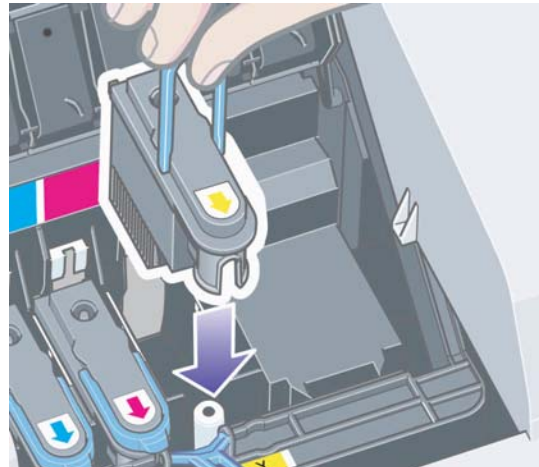
8. プリントヘッドをペーパー タオルの上に置いて、そのまま5分以上乾燥させます。



9. プリントヘッドを乾燥させている間に、キャリッジ内部にある接触面を同様の方法で清掃します。

## プリントヘッドのクリーニングを行うには (続き)

10. プリントヘッドおよびキャリッジ内部の接触面の両方が乾燥したら、プリントヘッドを所定の位置に挿入して取り付け、小さなハンドルを元の位置に戻します。プリントヘッドの前後を均等な強さでしっかりと下に押し、正しく取り付けられたことを確認します。



11. プリントヘッド カバーを手前に引いて閉めます。この際、プリントヘッド カバー前面のフックがタブに掛けられていることを確認します。プリントヘッド カバーを後方に倒して、カバーを閉じます。
12. プリンタに電源ケーブルを差し込みます。
13. プリンタの右側の扉をすべて閉じます。
14. 最高の印刷品質を実現できるように、プリントヘッドの軸合わせを実行することを強くお勧めします。31 ページの「プリントヘッドの軸合わせを行うには」を参照してください。  
プリントヘッドの軸合わせには、給紙トレイに用紙が入っている必要があります (通常用の紙でかまいません)。特に複数のプリントヘッドを取り付け直した場合は、軸合わせ前のキャリブレーションに多少時間がかかる場合があります。軸合わせ後、印刷物にチェックマーク (V) が付いていることを確認します。チェックマーク (V) はシアンで印刷されます。
15. フロントパネルの[プリントヘッド]アイコンが点滅していないことを確認します。これで、プリントヘッドは正常に取り付けられました。

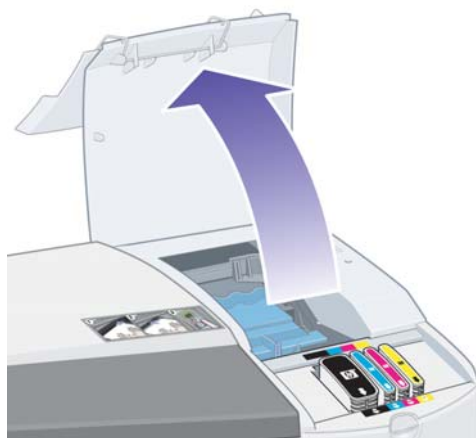
## プリントヘッドを交換するには

フロントパネルの[プリントヘッド]アイコン (44 ページを参照) のいずれかが点滅している場合、対応するプリントヘッドでエラーが発生したか、または要注意の状態であることを示しています。プリントヘッドが正しく取り付けられていることを確認し、プリントヘッドの接触面をクリーニングします (23 ページを参照)。これで問題が解決しない場合は、プリントヘッドを交換します。

1. プリンタ右側の前方部分の扉を開けます。
2. さらに後方部分の扉を開け、後方いっばいに持ち上げます。プリント キャリッジが、左に移動し、また右に戻ってきます。**キャリッジが止まるまでお待ちください。**



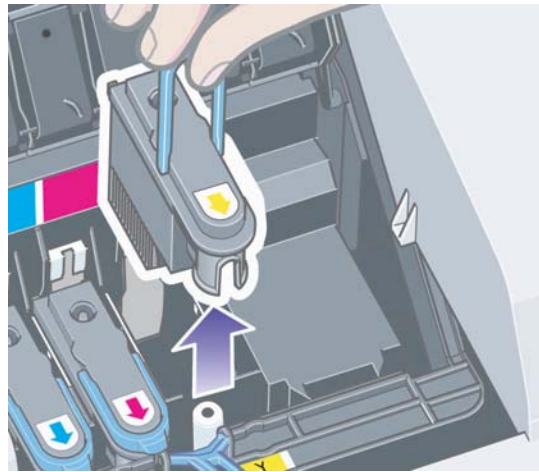
3. プrintヘッド カバーを手前に倒して、前面のフックを外します。次に、プリントヘッドカバー全体を後方に開けると、内側にプリントヘッドがあります。



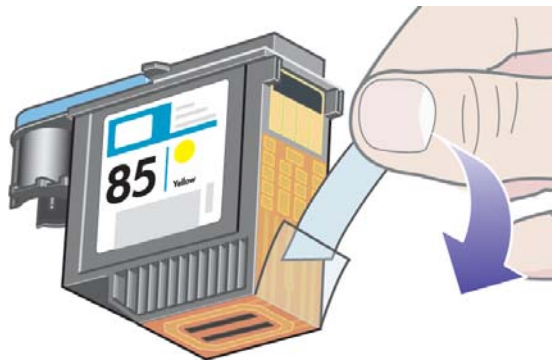
4. 交換する各プリントヘッドについて、次の操作を行います。

## プリントヘッドを交換するには (続き)

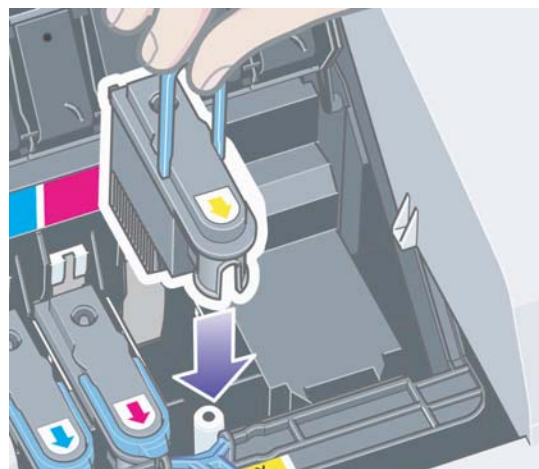
- 前面上部の小さなハンドルを使用して、プリントヘッドを垂直方向に持ち上げ、プリンタから取り外します。



- 新しいプリントヘッドの保護テープ (電極とインク ノズルを保護しています) を剥がします。

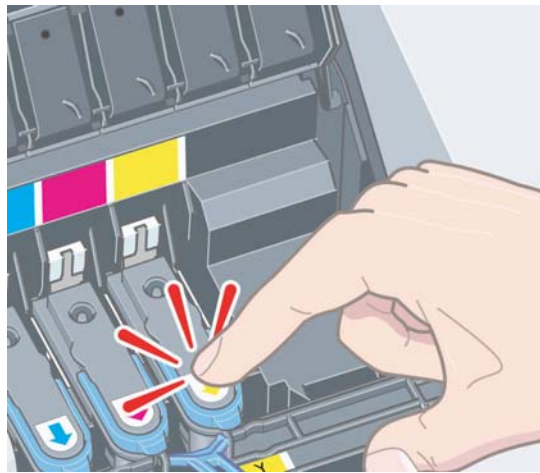


- 新しいプリントヘッドを所定の位置に挿入して、小さなハンドルを下に倒します。



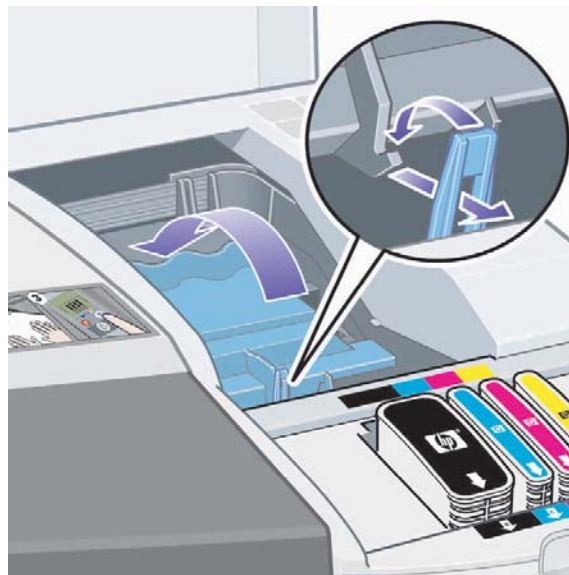
## プリントヘッドを交換するには (続き)

- プリントヘッドを軽く押し、しっかりと取り付けます。



交換する各プリントヘッドについて、以上の操作を繰り返します。

5. プリントヘッドを交換したら、プリントヘッド カバーを手前に引いて閉めます。この際、プリントヘッド カバーの前面のフックがタブに掛けられていることを確認します。プリントヘッド カバーを後方に倒して、カバーを閉じます。



6. 最後に、プリンタ右側の扉をすべて閉じます。前方部分の扉を閉じると、プリントヘッドのキャリブレーションと軸合わせが自動的に実行されます。プリントヘッドの軸合わせには、給紙トレイに用紙が入っている必要があります (通常用の紙でかまいません)。特に複数のプリントヘッドを交換した場合は、プリントヘッドの軸合わせ前のキャリブレーションに多少時間がかかる場合があります。

## プリントヘッドを交換するには (続き)

7. フロントパネルの[**プリントヘッド**]アイコンが点滅していないことを確認します。これでプリントヘッドは正常に取り付けられました。

プリントヘッドの交換手順についての詳細は、『**HP Designjet ドライバおよびプリンタの使い方 (HP Designjet Driver and Documentation)**』CDの「プリントヘッドを交換するには」を参照してください。

## プリントヘッドの軸合わせを行うには

プリントヘッドの軸合わせが正しく行われなかった場合、印刷品質が低下する恐れがあります。

プリントヘッドの軸合わせを行うには、HP Designjet システム保守を使用してください。このユーティリティは通常、ソフトウェア (プリンタ ドライバ) を『**HP Designjet ドライバおよびプリンタの使い方 (HP Designjet Driver and Documentation)**』CD からインストールする際にインストールされます。

使用する機能によっては、HP Designjet システム保守がインターネット接続を必要とする場合がありますが、プリントヘッドの軸合わせでは必要ありません。

46 ページの「HP Designjet システム保守について」を参照してください。

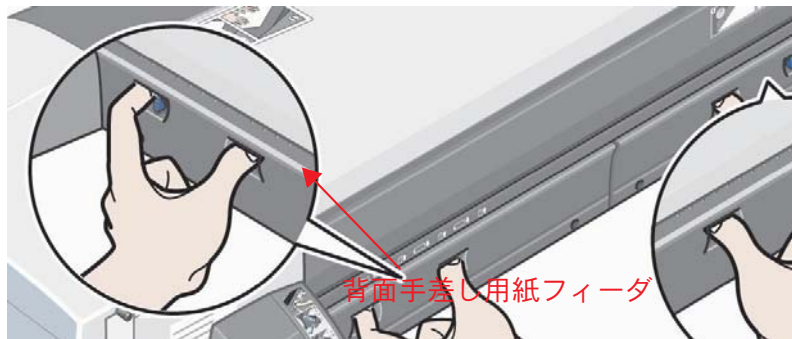
プリントヘッドの軸合わせを行うには、次の手順に従います。

1. A4 またはレターサイズ of 用紙が給紙トレイに 5 枚以上あることを確認します。
2. HP Designjet システム保守を起動します。
3. **[プリントヘッドの保守]**、**[プリントヘッドの軸合わせ]** の順番に選択します。
4. プリンタがプリントヘッドの軸合わせページを印刷します。印刷されたページにチェックマーク (V) が付いていることを確認します。チェックマーク (V) はシアンで印刷されます。チェックマーク (V) がない場合は、この手順を繰り返します。

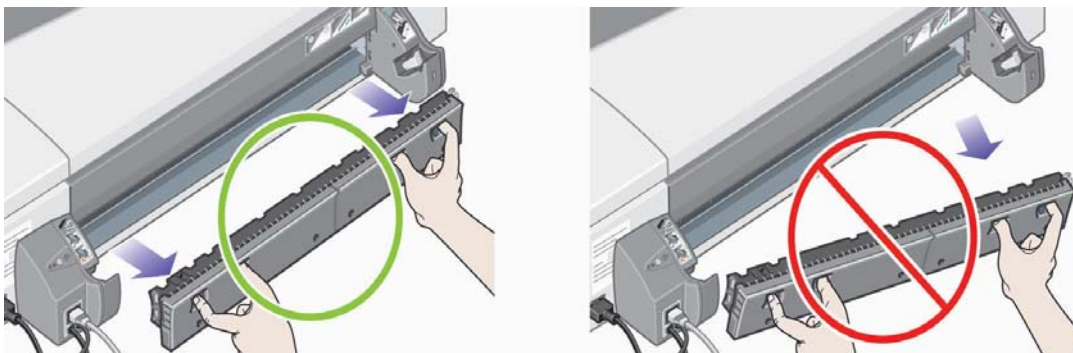


## 紙詰まりが発生した場合 (カット紙)

1. フロントパネルの **[OK]** ボタン (右上のボタン) を押します。  
それでも紙詰まりが解消されない場合は、以下の手順に従ってください。
2. プリンタの電源を切ります。
3. 給紙トレイからすべての用紙を取り出します。詰まっている用紙が見える場合は、まずその用紙を取り除きます。
4. 中央のカバーを開いて、詰まっている用紙を取り除きます。  
中央のカバーを開く際には、チューブやその他のプリンタ内部の部品を破損したり動かしたりしないように注意してください。
5. プリンタの背面にロール紙が取り付けられている場合には、まずロール紙を取り外します。
6. 背面手差し用紙フィーダを取り外します。取り外すには、下図のように背面手差し用紙フィーダの両端にあるボタンを互いに引き寄せるように押してから、手前にまっすぐに引き抜きます。まっすぐに引かないと、用紙センサーを損傷することがありますのでご注意ください。



背面手差し用紙フィーダを取り外すと、プリンタ背面から、内部に詰まった用紙などを取り除くことができます。



プリンタの背面から中に詰まっている用紙を取り除いてください。

背面手差し用紙フィーダを元の位置に戻し、しっかりとプリンタに取り付けます。

7. プリンタの電源を入れます。
8. 詰まっている用紙を取り除いたら、印刷品質の低下を防ぐために、プリントヘッドの軸合わせを行うことをお勧めします。プリントヘッドの軸合わせを行うには、**HP Designjet システム保守**を起動し (46 ページを参照)、**[プリントヘッドの保守]**、**[プリントヘッドの軸合わせ]** (31 ページを参照) の順番に選択します。

## 紙詰まりが発生した場合 (ロール紙)

ロール紙が詰まった場合は、次の手順に従ってください。

1. プリンタの電源を切ります。
2. ロール紙が詰まっていると思われる箇所をすべて確認します。
  - 前面の給紙トレイを取り外します。こうすると、前面のスロットからプリンタの内部が見えるようになります。詰まっている用紙を取り除きます。
  - 中央のカバーを開きます。チューブやその他のプリンタ内部の部品を破損したり動かしたりしないように注意してください。プリンタ内のホイールに用紙が詰まっている場合は、それを取り除きます。
  - プリンタからロール紙を取り外します。70 プリンタ シリーズを使用している場合は、17 ページの「ロール紙を取り外すには (70 プリンタ シリーズ)」を参照してください。110plus プリンタ シリーズを使用している場合は 21 ページの「ロール紙を取り外すには (110plus プリンタ シリーズ)」を参照してください。
  - 背面手差し用紙フィーダを取り外します。取り外すには、両端にあるボタンを互いに引き寄せるようにして押してから、手前にまっすぐに引きます。まっすぐに引かないと、用紙センサーを破損することがありますのでご注意ください。プリンタ内のローラーに用紙が詰まっている場合は、それを取り除きます。
3. 紙詰まりを取り除いたら、プリンタを元の状態に戻します。給紙トレイおよび背面手差し用紙フィーダ、ロール紙のスピンドルなどは、元のようにプリンタにしっかり取り付け、中央のカバーなど開いた状態になっているものは、閉じてください。
4. プリンタの電源を入れます。
5. ロール紙を取り付け直す前に、ロール紙の先端をカットします。ロール紙の端がまっすぐに、それぞれの角が直角にカットされていることを確認してください。

## 給紙トレイから用紙が給紙されない場合

給紙トレイから用紙が給紙されない場合は

1. プリントジョブの給紙方法が正しく指定されていることを確認します。
2. 給紙トレイに用紙があり、正しく取り付けられていることを確認します。  
6 ページの「給紙トレイに用紙を取り付けるには」を参照してください。  
用紙を給紙トレイから取り出して、取り付け直します。
3. 給紙トレイの用紙が多すぎないことを確認します。給紙の上限の目安は、普通紙で70枚、コート紙で50枚、光沢紙で20枚です。これ以上の用紙をトレイに取り付けしないでください (詳細については、『HP Designjet ドライブおよびプリンタの使い方 (HP Designjet Driver and Documentation)』CDを参照してください)。

プリンタの一部のモデルに表示されている給紙トレイの上限ラインは、理論上の限度であって、取り付け可能な最大給紙量を表すものではありません。

給紙トレイが安定した平らな面によって支えられていることを確認します。

4. 曲がった用紙や傷ついた用紙を使用すると、給紙の際にエラーが発生することがあります。このような問題を避けるため、用紙は箱に入れて保管します。

## 前面手差し用紙フィーダまたは給紙トレイから給紙した用紙が排出される場合

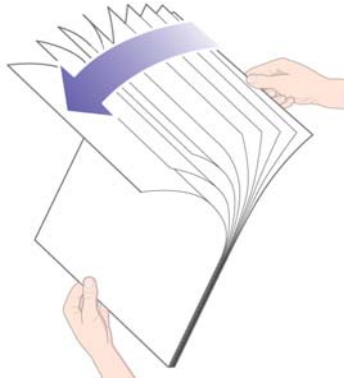
プリンタが用紙を排出する場合は

- 用紙が給紙トレイの右側に揃っていることを確認します。
- 前面手差し用紙フィーダから給紙する際は、コンピュータからジョブを送信する前に、**[OK]** ボタンを押して給紙します。
- 曲がった用紙や傷ついた用紙を使用すると、給紙の際にエラーが発生することがあります。このような問題を避けるため、用紙は箱に入れて保管します。
- 給紙トレイを使用する場合は、調整タブが正しく設定されていることを確認します。

## 一度に2枚以上の用紙が給紙される場合

一度に2枚以上の用紙が重なったまま給紙される場合は

- 用紙が給紙トレイに正しく取り付けられていることを確認します。6ページの「給紙トレイに用紙を取り付けるには」を参照してください。用紙を給紙トレイから取り出して、取り付け直します。
- 給紙トレイに用紙を取り付ける際は、用紙の短辺側をパラパラとめくって紙がくっついていないことを確認してから取り付けてください。

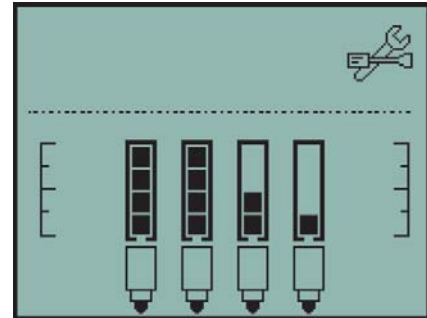


- 用紙に傷がないことを確認します。使用しない用紙は箱に入れて保管します。

## プリンタが 止まる場合

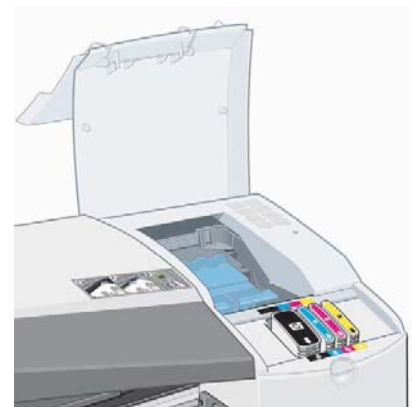
下図では、70 プリンタ シリーズを例に説明しています。

フロント パネルが右の図のような場合、注意ランプが点滅します。

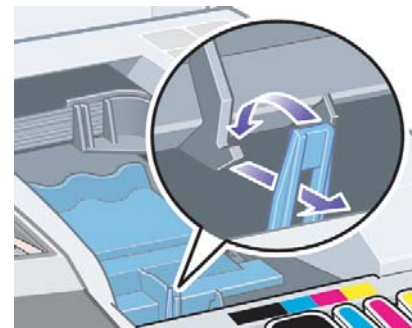


1. プリンタの右側の扉を開けて後方に持ち上げると、プリント キャリッジが見えます。梱包材がすべてキャリッジから取り外されていることを確認します。

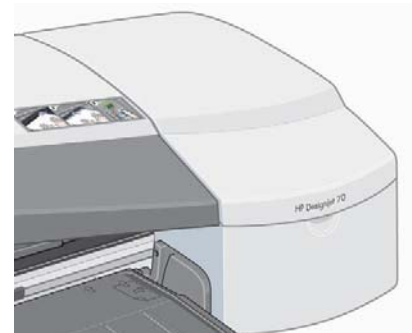
**この時 で、キャリッジが くことがあります。  
キャリッジの きが止まるまでお待ちください。**



2. プrintヘッド カバーのラッチが閉じていることを確認します。ラッチがきちんと閉じていないとプリンタは動作しません。



3. 後方部分の扉、前方部分の扉を順に閉じます。扉がきちんと閉じていないと、プリンタは動作しません。
4. 注意ランプがオフにならない場合は、『**HP Designjet ドライバおよびプリンタの使い方 (HP Designjet Driver and Documentation)**』CDを参照してください。



## プリンタがジョブを受け取らない場合

プリンタが、送信したプリント ジョブを受け取っていないと思われる場合は、以下の手順を実行してください。

1. プリンタがコンピュータに正しく接続されていることを確認します。

ネットワーク経由で接続している場合は、プリンタの情報ページを印刷し ([電源] ボタンを押しながら、[OK] ボタンを4回押します)、TCP/IPのセクションの「Status」の項目が「Ready」になっていることを確認します。また、同じ箇所に記載されているプリンタのIPアドレスとサブネット マスクを書き留めます。

- IPアドレスが「0.0.0.0」または「192.0.0.192」である場合は、プリンタのセットアップ ガイドを参照してください。
- 「Status」が「Ready」である場合、Web ブラウザを使用してプリンタとコンピュータ間のネットワーク接続を確認できます。ブラウザのURLを入力する部分に、プリンタのIPアドレスを入力します。プリンタから応答がある場合は、プリンタとコンピュータ間のネットワーク接続は正常です。
- 「Status」が「Not Ready」である場合、またはプリンタが Web ブラウザに応答しない場合は、プリンタのIPアドレスとサブネット マスクが、使用しているネットワークに属していることを確認します。
- 必要に応じてネットワーク管理者にお問い合わせください。

2. プリンタのキューが一時停止になっていないことを確認します。

3. Mac OS Xを使用している場合は、プリンタの設定時に [IP プリント] ではなく、[HP IP プリント] が選択されていることを確認します。

## 印刷品質が低い場合

印刷品質が低い場合は、以下を参照してください。

1. プリンタのクリーニングが必要であるかどうかを確認します。必要な場合は、『**HP Designjet ドライバおよびプリンタの使い方 (HP Designjet Driver and Documentation)**』CDを参照してください。
2. その他の印刷品質の低下の原因については、『**HP Designjet ドライバおよびプリンタの使い方 (HP Designjet Driver and Documentation)**』CDを参照してください。

プリンタで最高の結果を得るには、HP 純正のインクと HP 純正用紙を使用することが重要です。

## フロントパネルの [ツール] アイコンが点滅する場合

プリンタでハードウェアのエラーが発生している場合は、フロントパネルに次のアイコンが点滅します。

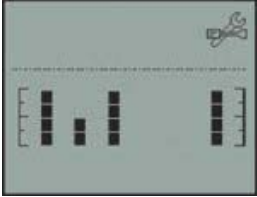

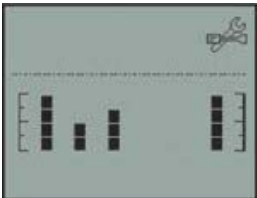
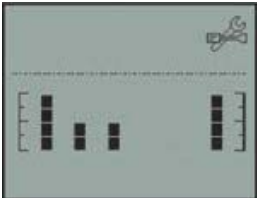


フロントパネルの [インクカートリッジ] アイコン表示部分にエラーの内容が正方形のパターンとして表示されます。

パターン	説明	解決法
	梱包材が残っている、プリントヘッド キャリッジ ラッチがきちんと閉じていない、またはカッターが正しく組み立てられていない エラー コード：86:11	プリンタの電源を切ります。すべての梱包材が取り除かれ、プリントヘッド キャリッジ ラッチがきちんと閉じていることを確認します。『ユーザーズ ガイド』の指示に従って、カッターを取り外し、再度取り付けます。
	背面手差し用紙フィーダが正しく取り付けられていない エラー コード：35:01	背面手差し用紙フィーダを取り外し、再度取り付けます (32 ページ参照)。エラー状態を解除するには、[OK] ボタンを押します。
	一般的なプリンタ システム エラー エラー コード：56:13	電源ケーブルを抜き、数秒待ちます。電源ケーブルを差し込み、プリンタの電源を入れます。問題が解決されない場合は、HP サポートにお問い合わせください。
	一般的な I/O エラー エラー コード：65:04	電源ケーブルを抜き、数秒待ちます。予備の I/O ケーブルがある場合はケーブルを交換し、電源ケーブルを差し込み、プリンタの電源を入れます。



フロントパネルの [ツール] アイコンが点滅する場合 (続き)

パターン	説明	解決法
	<p>USB I/O エラー</p> <p>エラー コード : 64:04</p>	<p>電源ケーブルを抜き、数秒待ちます。USB ケーブルが正常に機能していること、および長さが 3m 未満であることを確認します。または別のケーブルに交換します。電源ケーブルを差し込み、電源を入れます。</p>
	<p>一般的な Jetdirect エラー</p> <p>エラー コード : 04:13</p>	<p>電源ケーブルを抜きます。HP Jetdirect プリント サーバを取り外します。ケーブルが正常に機能していること、およびプリンタとネットワークが正しく接続されていることを確認します。プリンタに HP Jetdirect プリント サーバを取り付けてから、電源ケーブルを差し込み、プリンタの電源を入れます。問題が解決しない場合は、HP Jetdirect のファームウェアをアップデートしてください。アップデートは次のサイトから入手できます。 <a href="http://www.hp.com/support/net_printing/">http://www.hp.com/support/net_printing/</a></p>
	<p>ネットワーク I/O エラー</p> <p>エラー コード : 63:04</p>	<p>電源ケーブルを抜き、数秒待ちます。ネットワーク カードを取り外し、ケーブルが正常に機能していること、およびプリンタとコンピュータが正しく接続されていることを確認します。電源ケーブルを差し込み、プリンタの電源を入れます。</p>
	<p>パラレル I/O エラー</p> <p>エラー コード : 62:04</p>	<p>電源ケーブルを抜き、数秒待ちます。パラレル ケーブルが正常に機能していること、およびプリンタとコンピュータが正しく接続されていることを確認します。ケーブルが IEEE 1284 準拠で長さが 5m 未満であることを確認します。電源ケーブルを差し込み、プリンタの電源を入れます。</p>

それでも問題が解決しない場合は、46 ページの説明に従って HP Designjet システム保守を起動し、HP インスタント サポート Web サイトにアクセスします。これは、お使いのコンピュータがプリンタのステータスやエラー状態に関する情報を収集し、HP の Web サーバに自動的に送信するサービスです。その後、検出された問題の解決方法が Web ブラウザに表示されます。

**[HP インスタント サポート]** を利用するには、インターネットに接続する必要があります。なお、HP インスタント サポートの対応状況につきましては、弊社 Web にてご確認ください。

## その他の問題

- トラブルシューティングの詳細は、『**HP Designjet ドライバおよびプリンタの使い方 (HP Designjet Driver and Documentation)**』CDの「トラブルシューティング」を参照してください。
- プリンタの設置に関する問題については、『**HP Designjet ドライバおよびプリンタの使い方 (HP Designjet Driver and Documentation)**』CDの「組み立てと設定を完了するには」を参照してください。
- 詰まった用紙の取り除き方は、このガイドの32ページで説明しています。
- 印刷品質が低下している場合は、プリンタのクリーニングが必要な場合があります。詳細は、『**HP Designjet ドライバおよびプリンタの使い方 (HP Designjet Driver and Documentation)**』CDを参照してください。

お使いのコンピュータにHP Designjetソフトウェアがインストールされていて、インターネット接続が可能である場合は、HP Designjetシステム保守をトラブルシューティングに使用できます。このユーティリティを使用してHP インスタント サポート Web サイトに接続し、オンラインで問題の診断を行います。

HP Designjetシステム保守の詳細は、46 ページの「HP Designjetシステム保守について」を参照してください。

[**HP インスタント サポート**]で問題を解決できない場合は、[**トラブルシューティング**]を選択して詳細を確認してください。

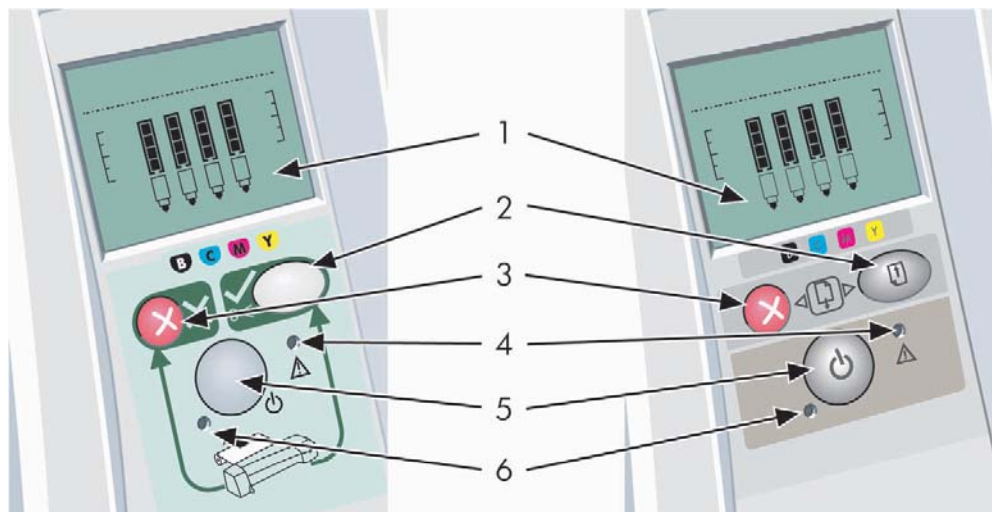
プリンタのトラブルシューティングの詳細は、『**HP Designjet ドライバおよびプリンタの使い方 (HP Designjet Driver and Documentation)**』CDを参照してください。



## フロントパネルについて

プリンタのフロントパネル (コントロールパネル) には、プリンタの状態に関する情報が表示されます。また、プリンタの動作を制御するための3つのボタンがあります。

下図は、HP Designjet 110plus プリンタ シリーズ (左) と HP Designjet 70 プリンタ シリーズ (右) を示しています。



図の番号は、以下の項目の番号に対応しています。

### 1. ディスプレイ部分

### 2. [OK] ボタン：次の場合に押します。

- 指示に従って適切な給紙トレイやフィーダに**用紙を取り付けたら**、このボタンを押して印刷を開始します。
- 詰まった用紙の除去やプリントヘッドに不具合がある場合など、**問題を修復した**ときや、印刷の再開などプリンタに動作を継続させるときにこのボタンを押します。
- ロール紙フィーダにロール紙が取り付けられているときに、**ロール紙をカット**する場合に、このボタンを押します。

### 3. [キャンセル] ボタン：現在行われている操作をキャンセルします。

### 4. 注意ランプ：注意 (黄色) ランプは、たとえば中央のカバーを閉じるなど、プリンタがユーザの操作を必要としている場合に点灯します。

### 5. [電源] ボタン：プリンタの電源のオン/オフを切り替えます。

### 6. 電源ランプ：プリンタの電源を入れると電源ランプが緑に点灯します。

## フロントパネルについて (続き)

フロントパネルには、プリンタに関する情報が表示される**ディスプレイ**部分があります。ディスプレイ部分の下 3 分の 2 に表示されるアイコンは、インク システムの黒、シアン、マゼンタ、イエローのコンポーネントを表しています。


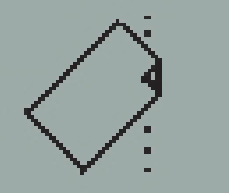





## フロントパネルのアイコンについて



4つのアイコンは、各インクカートリッジのインクの量を示します。

点滅している[プリントヘッド]アイコン(一番下)は、プリントヘッドに問題があることを示しています。



<p><b>ビジー :</b></p> 	<p><b>点滅している場合 :</b> 印刷中、ジョブのキャンセル中、乾燥中、電源オフの実行中です。中央のカバーまたは右側の扉を開けると点滅します。 <b>対処 :</b> 中央のカバーまたは右側の扉を閉じます。 <b>表示されない場合 :</b> プリンタの電源がオフの時、アイドルング時、ユーザの操作待ちの時。</p>
<p><b>用紙の不揃い :</b></p> 	<p><b>点滅している場合 :</b> 用紙が揃っていません。用紙を取り付け直す必要があります。 <b>対処 :</b> 用紙を取り付け直します。 <b>表示されない場合 :</b> 正常な状態です。</p>
<p><b>ロール紙のステータス :</b></p> 	<p><b>表示される場合 :</b> ロール紙が取り付けられています。 <b>点滅している場合 :</b> ロール紙がなくなったか、用紙が詰まっています。 <b>対処 :</b> ロール紙を取り付けます。 <b>表示されない場合 :</b> ロール紙が取り付けられていません。</p>
<p><b>用紙のステータス :</b></p> 	<p><b>点滅している場合 :</b> 用紙がなくなった、または給紙トレイから給紙ができない状態です。 <b>対処 :</b> 用紙を補充します。または用紙経路から詰まっている紙を取り除きます。 <b>表示されない場合 :</b> 正常な状態です。</p>
<p><b>ボタン :</b></p> 	<p><b>点滅している場合 :</b> プリンタが待機中です。 <b>対処 :</b> [OK] ボタンを押します。 <b>表示されない場合 :</b> 正常な状態です。</p>
<p><b>ハードウェアのエラー :</b></p> 	<p><b>点滅している場合 :</b> ハードウェアにエラーが発生しています。 <b>対処 :</b> 39ページを参照してください。 <b>表示されない場合 :</b> 正常な状態です。</p>
<p><b>紙詰まり :</b></p> 	<p><b>点滅している場合 :</b> 用紙詰まりまたはキャリッジ詰まりです。 <b>対処 :</b> 詰まっている紙を取り除きます。32ページを参照してください。 <b>表示されない場合 :</b> 正常な状態です。</p>

## 複数のアイコンの点滅について

### ロール紙の取り外し

**点滅している場合：**ロール紙を手動で取り外すまでプリンタは停止します。

**対処：**ロール紙をプリンタ内から完全に取り出します。ロール紙をスピンドルごと取り外す必要はありません。

**表示されない場合：**正常な状態です。

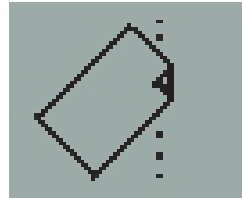


### ロール紙の不揃い

**点滅している場合：**ロール紙が揃っていないため、ロール紙を取り付け直す必要があります。

**対処：**ロール紙を取り外して、取り付け位置をよく注意しながら取り付け直します。

**表示されない場合：**正常な状態です。



## HP Designjet システム保守について

インターネットに接続できる場合は、**HP Designjet システム保守**を利用して、Web上のサポートおよびトラブルシューティングのサービスにアクセスできます。インターネットに接続できない場合でも、プリンタに関する問題の解決に役立つ機能をご利用いただけます。

Windowsで**HP Designjet システム保守**を開始するには、次の手順に従います。

1. Windowsのタスクバーから、**[スタート]** - **[設定]** - **[プリンタとFAX]**の順に選択します。
2. プリンタのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから**[印刷設定]** (Windows 2000およびWindows XPの場合) または**[プロパティ]** (Windows 98およびWindows Meの場合)を選択します。
3. **[サービス]** タブを選択して**[プリンタのステータス]**をクリックします。

Mac OSで**HP Designjet システム保守**を開始するには、デスクトップの**[HP Designjet システム保守]**アイコンをダブルクリックします。Mac OS Xの場合は、**[プリントセンター]**または**[プリンタ設定ユーティリティ]**から起動することもできます。プリンタを選択して、**[設定]**をクリックします。

上記の手順に従うと、Webブラウザが自動的に起動します。

以上の操作を正常に実行できない場合は、以下の理由が考えられます。

- お使いのコンピュータがプリンタを管理していない可能性があります。その場合は、プリンタ サーバから**HP Designjet システム保守**を使用します。
- プリンタは、お使いのコンピュータで管理されているが、**HP Designjet システム保守**がインストールされていない可能性があります。その場合は、『**HP Designjet ドライバ およびプリンタの使い方 (HP Designjet Driver and Documentation)**』CDからインストールしてください。

## プリンタの詳細情報について

以下の詳細情報が必要な場合は

- プリンタの使用方法
- プリンタの機能 (Mac ドライバやネットワークの情報も含む)
- プリンタに問題が発生した時のトラブルシューティング

詳細は、『**HP Designjet ドライバおよびプリンタの使い方 (HP Designjet Driver and Documentation)**』CD を参照してください。

Windows ドライバの詳細については、ドライバ内のヘルプを参照してください。





## HP 無償保証

## HP Designjet 70/110plus プリンタ シリーズ

HP 製品	無償保証期間
プリンタおよび関連HPハードウェア：	1年間 (お客様の購入日から)
ソフトウェア：	90日間 (お客様の購入日から)
プリントヘッド (黒)：	製品に印刷されている「保証期限日」に達するまで、あるいはプリントヘッドで530ccのHPインクを使い切るまでの、いずれか先に到達したとき。
プリントヘッド (シアン、マゼンダ、イエロー)：	「保証期限日」に達するまで、あるいはプリントヘッドで200ccのHPインクを使い切るまでの、いずれか先に到達したとき。
インク カートリッジ：	HPインクを消費するまで、または製品に印刷されている「保証期限日」に達するまでの、いずれか先に到達したとき。

## A. 無償保証の範囲

1. Hewlett-Packard社 (以下「弊社」と言います) は、お客様に対して、上記の保証期間内で取扱説明書に従い、通常のご使用状態において発生した部品もしくは製造上の不具合について、無償修理を保証いたします。その際、購入日の証明が必要になりますので、お客様ご自身の責任において保証書を保管していただきますようお願いいたします。
2. ソフトウェア製品について、弊社の無償保証は、プログラム命令が実行されない欠陥に対してのみ適用されます。弊社はいかなるソフトウェア製品についても、動作の中断について、あるいはエラーが発生しないという保証はいたしません。
3. 弊社の限定保証は、製品を適切に使用した結果発生した不具合に対してのみ適用されます。以下のような場合には適用されません。
  - a. お客様の不適切または不十分な保守による場合。
  - b. 弊社が提供またはサポートしていないソフトウェア、インタフェース、メディア、サプライ品を使用した場合。
  - c. 製品仕様の範囲外での製品操作に起因する場合。
  - d. 製品の連続的使用によって消耗・摩耗する部品、弊社CEによる消耗・摩耗部品の交換作業、清掃作業、定期点検作業。
  - e. 製品の移動が不適切であったための故障または損傷の場合。
  - f. 異常電圧、指定外使用電源 (電圧、周波数) による場合。
  - g. 火災、風水害、地震等の天災地変、争動、暴動、戦争行為および放射能汚染等のその他不可抗力的事故による場合。

## HP 無償保証 ( 続き )

4. HP プリンタ 製品について、補充用またはその後ご購入頂いたHP サプライ品 ( インク、プリントヘッド、インク カートリッジ ) を使用頂いても、お客様への保証またはお客様とのHP サポート契約には影響いたしません。ただし、HP 製品以外のインク カートリッジ、または補充用のインク カートリッジの使用によるプリンタの故障や 損については、修理に必要とされる 者 費、 費および、材 費を させていただきます。
5. 保証期間内に、弊社の保証の対 となっているソフトウェア、用紙、サプライ品の不具合の通 を弊社が受け取った場合、弊社はお客様に別の製品を送付して、不具合のある製品と交換いたします。保証期間中に弊社の保証の対 となっているハードウェア製品の不具合の通 を弊社が受け取った場合、弊社は、不具合のある製品を修理いたします。弊社の 断で、不具合のある部分を交換する場合があります、必要な場合は 作業による部品の取り付けをいたします。弊社の 断により、不具合のある製品の 品をお断りすることがあります。
6. 保証の対 となっている不具合のある製品の修理または交換に対応ができない場合、弊社は、不具合の通 を受けてからしかるべき期間内に、製品の購入 を いたします。
7. お客様から故障した製品を弊社にご いただくまで、弊社には修理、交換または の はありません。
8. 交換する製品は、同等の機能を持つ 品、または 品同等の製品とさせていただきます。
9. HP 製品は、 品同様に再生された部品、コンポーネントを使用する場合があります。
10. 弊社の無償保証は、弊社が保証対 製品を発 しているあらゆる /地 においてです。お客様が受けられる保証サービスの 準は、 /地 により異なります。弊社では、法 上または 制により、製品の機能が目的とされていない /地 で製品を動作させるために、弊社製品の形状、適合性、または機能を変 することはありません。オンサイト サービスなど、さらなる保証サービスについては、弊社カスタマ・ケア センタまたは 理 にご ください。
11. いかなる方法であれ、補充、再生、再製品 、 用、 造が行われたHP プリント カートリッジに対しては、プリント カートリッジの保証は適用されません。

## B. 保証の

1. 法 の 範囲において、弊社および弊社のサード パーティ メーカーは、弊社の製品に関して、上記以外の保証も、いかなる 定もいたしません。弊社は、 場性、品質、 定目的に関する 合性について、いかなる保証も 定もいたしません。

## HP 無償保証 ( 続き )

### C. 責任の制限

1. 法律の及ぶ範囲において、この保証書で提供されている救済措置は、お客様に帰属する唯一の独占的な救済措置です。
2. 法律の及ぶ範囲において、この保証書で特に明記されている責任を除き、契約、不法行為、その他の法的論理に基づいているかに関わらず、またそうした損害の可能性を報告していたかに関わらず、弊社または弊社のサードパーティ メーカーは、直接的、間接的、特殊な、偶発的または必然的な損害に対していかなる責任も負いません。

### D. 国 / 地域別の法律

1. この保証は、特定の法的権利をお客様に与えるものです。その権利は、米国とカナダでは州によって、またはその他の国 / 地域では異なる可能性があります。
2. 保証の一部が特定の国 / 地域の法律と一致していない場合は、その国 / 地域の法律に合致するよう修正されます。ただし、このような場合、本保証書における権利および制限が適用されないこともあります。たとえば、米国以外の政府 ( カナダの州政府を含む ) と同様、米国の一部の州には、次のような制限があります。
  - a. この保証書の放棄と制限を顧客の法的権利の制限から廃除する ( 例 : イギリス ) 。
  - b. 権利や制限などを施行する製造業者の法的能力を制限する。
  - c. 顧客に対して、付加的な保証の権利、すなわち製造業者が放棄できない黙示的な保証期間の指定に関する権利、または黙示的な保証期間の制限を許可しない権利を付与する。
3. オーストラリアおよびニュージーランドにおける顧客取り引きに関して、法的に許可されている場合以外は、本保証書の条件は除外、制限、または変更されません。さらに、本保証書の条件は、この国 / 地域のお客様への HP 製品の販売に適用される、強制力のある法的権利となります。

改訂 : 2003 年 2 月 10 日

## 法定規格通知

プリンタで使用されているインク システムの最新の Material Safety Data Sheets (MSDS) を取得するには、次の住所宛にご請求ください。Hewlett-Packard Customer Information Center, 19310 Pruneridge Avenue, Dept.MSDS, Cupertino, CA 95014, U.S.A.

また、次の Web ページでもご請求いただけます。

[http://www.hp.com/hpinfo/community/environment/productinfo/psis\\_inkjet.htm](http://www.hp.com/hpinfo/community/environment/productinfo/psis_inkjet.htm)

## 規制適合モデル番号

準拠する規制を識別する目的上、製品には規制適合モデル識別番号が割り当てられています。この製品の規制適合モデル番号は、BCLAA-0301、BCLAA-0302、および BCLAA-0408 です (製品のサイズによって異なります)。この規制適合番号は、商品名 (HP Designjet プリンタなど) または製品番号 (Z####X など、Z および X は任意の 1 文字、# は数字) とは異なるものです。

## 電磁的両立性 (EMC)

### FCC ステートメント (米国)

米国 連邦通信委員会は、連邦規制基準 15.105 の 47 において、下記の事項を本製品のユーザーに対して通知する旨の通告を行っています。

#### 製品識別番号：

次の規制適合モデル番号の HP プリンタ：BCLAA-0301、BCLAA-0302、および BCLAA-0408。

本装置は、FCC 規制の第 15 章に準拠しています。本装置の動作は下記の 2 つの条件に従います。(1) 本装置は有害な電波障害を発生させてはならない、(2) 本装置は、望ましくない動作を引き起こす可能性のある電波障害を含め、あらゆる電波障害を受容できなければならない。

#### シールド ケーブル

FCC 規制第 15 章のクラス B 制限に適合させるため、シールド付きデータ ケーブルを使用する必要があります。

**注意：**本機器は FCC 規制第 15.21 章に準拠しており、弊社の明示的な許可なく機器の変更、修正を行った場合は有害な電波障害を引き起こす可能性があります。また、そのような機器の動作は FCC の認可対象外となります。

**注記：**本機器は、FCC 規制第 15 章に定められたクラス B デジタル機器に関する制限に従ってテストされ、これに準拠するものと認定されています。これらの制限は、本機器を住居内で使用する際に有害な電波障害を起こさないために規定されたものです。本機器は、無線周波数エネルギーを発生、使用、放射する可能性があります。

## 法定規格通知 ( 続き )

また、手順に沿って適切に取り付けられ、使用されていない場合、無線通信に有害な電波障害を引き起こす可能性があります。ただし、これは特定の設置状況で電波障害が発生しないことを保証するものではありません。本機器がラジオやテレビの受信に有害な電波障害を引き起こしており、このことが機器の電源のオン / オフ操作によって確認できる場合、下記の方法を用いて、お客様ご自身でこの電波障害の解決を試みることをお勧めします。

- 受信アンテナを方向を変えます。
- 機器と受信機の距離を離します。
- 受信機が接続されていないコンセントに機器を接続します。
- 販売代理店、または経験のあるラジオ / テレビ技術者に問い合わせます。

FCCが提供するブックレット、『How to Identify and Resolve Radio-TV Interference Problems』にも有用な情報が記載されています。このブックレットは、米国印刷局 (US Government Printing Office) で入手可能です。住所 : Washington, DC 20402, Stock No.004-000-00345-4

### Normes de sécurité (Canada)

Le présent appareil numérique n'émet pas de bruits radioélectriques dépassant les limites applicables aux appareils numériques de Classe B prescrites dans le règlement sur le brouillage radioélectrique édicté par le Ministère des Communications du Canada.

### DOC ステートメント (カナダ)

本デジタル機器が放出する電波雑音は、Canadian Department of Communications の Radio Interference Regulations で制限されているデジタル機器のクラス B 制限を超えません。

### EMI ステートメント (韓国)

사용자 안내문 : A 급 기기

이 기기는 업무용으로 전자파적합등록을 받은 기기이오니, 판매자 또는 사용자는 이 점을 주의 하시기 바라며, 만약 잘못 구입 하셨을 때에는 구입한 곳에서 비업무용으로 교환 하시기 바랍니다.

## 法定規格通知 ( 続き )

### VCCI クラス B ( 日本 )

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。  
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

### 電源コードの安全性について

製品には、同梱された電源コードをお使い下さい。  
同梱された電源コードは、他の製品では使用出来ません。

translation  
Please use the attached power cord.  
The attached power cord is not allowed to use with other product.

### EMI ステートメント ( 台湾 )

#### 警告使用者：

這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。

### EMI ステートメント ( 中国 )

本设备符合中国无线电干扰技术标准信息  
技术设备B级发射限值要求。

### 騒音 ( ドイツ )

Geräuschemission (Germany) LpA < 70 dB, am Arbeitsplatz, im Normalbetrieb, nach DIN45635 T. 19.



**DECLARATION OF CONFORMITY**  
according to ISO/IEC Guide 22 and EN 45014

**Supplier's Name:** Hewlett-Packard Company  
**Supplier's Address:** Avda. Graells, 501  
08174 Sant Cugat del Vallès  
Barcelona, Spain

**declares that the product**

**Regulatory Model:** <sup>3)</sup> BCLAA-0301  
BCLAA-0302  
BCLAA-0408  
**Product Family:** HP Designjet Inkjet Printers  
**Product Options:** All<sup>4)</sup>

**Conforms to the following Product Specifications**

**Safety:** IEC 60950-1:2001 / EN 60950-1:2001  
**EMC:** CISPR 22:1997 / EN 55022:1998 Class B<sup>1)</sup>  
EN 55024:1998 +A1  
EN 61000-3-2:2000  
EN 61000-3-3:1995+A1:2001  
FCC Title 47 CFR, Part 15 Class B<sup>2)</sup>

**Additional Information**

The product herewith complies with the requirements of the Low-Voltage Directive 73/23/EEC and the EMC Directive 89/336/EEC and carries the CE marking accordingly.

- <sup>1)</sup>The product was tested in a typical configuration with HP Personal Computer Systems and peripherals.  
<sup>2)</sup>This Device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two Conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.  
<sup>3)</sup>This product is assigned a Regulatory model number which stays with the regulatory aspects of the design. The Regulatory Model Number is the main product identifier in the regulatory documentation and test reports, this number should not be confused with the marketing name or the product numbers.  
<sup>4)</sup>Except bundles including p/n: Q1292-60058 EyeOne Kit, which are only intended for EMEA market.

Sant Cugat del Vallès  
(Barcelona),  
January 25<sup>th</sup>, 2005

Josep-Maria Pujol,  
Product Regulations Manager

**Local contact for regulatory topics only:**

European Contact: Hewlett-Packard GmbH, HQ-TRE, Herrenberger Strasse 140, 71034 Boeblingen, Germany  
USA Contact: Hewlett-Packard Company, HPCC, 20555 S.H. 249 Houston, Texas, 77070  
Australia Contact: Hewlett-Packard Australia Ltd, Product regulations Manger, 31-41 Joseph Street, Blackburn, Victoria, 3130, Australia









リサイクル用紙  
使用

© Hewlett-Packard Company, 2005

04/2005

Q6655-90018

Printed in Germany.

Imprimé en Allemagne.

Stampato in Germania.

Hewlett Packard Company  
Avenida Graells, 501  
08174 Sant Cugat del Vallés  
Barcelona  
Spain



Q6655-90018